

学校評価アンケート結果まとめ

会津支援学校

学校評価アンケートへの御協力、ありがとうございました！！

■とても満足度の高い学校との評価結果でした！

アンケートでは、大きく以下の4観点にわたってお聞きしました。

- (1) 学びの変革と充実
- (2) 健康と安全・安心
- (3) 教師の「専門性の向上」
- (4) 地域や保護者との「連携・協働」



今回の報告では、4観点別の評価結果を保護者の皆様、児童生徒、教職員調査に分け、考察と今後の対応をお知らせいたします。なお、未回答の部分があるため、合計が100%にならない項目がありますので御了承ください。

1 保護者の皆様 評価の結果



<評価の基準>

- A…よく当てはまる B…おおむね当てはまる
C…あまり当てはまらない D…当てはまらない

アンケート回収 小：87名（100%）、 中 34名（83%）、 高 64名（74%）

(1) 学びの変革と充実

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	高等部
項目① 学校は、対話と協働による学習活動や、パソコンやタブレット端末、テレビ等のICT機器を活用した授業を工夫して行っている。	A	53	62	38
	B	42	35	55
	C	4	0	2
	D	1	0	2
項目② 学校は、個別の指導計画を活用し、学びを積み上げるために一人一人に合わせた指導・支援を行っている。	A	74	76	63
	B	23	21	33
	C	2	3	3
	D	0	0	0
項目③ 「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」と児童生徒が感じられるように、学校は各教科等の指導の工夫に努め、分かりやすい評価を行っている。	A	67	65	55
	B	32	35	42
	C	0	0	3
	D	0	0	0
項目④ 学校は、地域の一員として自立し社会参加できるように、関係機関と連携・協働し、段階に合わせたキャリア教育を行っている。	A	53	50	48
	B	42	41	42
	C	4	9	6
	D	0	0	0

【まとめ】

- どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせると全項目で90%以上の数値となっており、学びの変革と充実に向けた取組が高く評価されています。
- 大部分の項目について、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の数値が若干出ています。今後も自立と社会参加を目指し、ICT機器を効果的に活用しながら、障がいの特性や発達に応じた各教科等の授業の工夫、「個別の指導計画」を基にした一人一人の教育的ニーズに応じた指導と支援、段階に合わせたキャリア教育の指導に努めていきます。

3 小・中学部、高等部の児童生徒一人一人がタブレット端末を用いた学習を行うことができる環境と各教室、特別教室ごとにテレビ、書画カメラなどの機器が整備されています。また、環境整備及びタブレット端末利用時に関する情報共有、専門向上研修など、ICT 支援員と連携を図りながら学習支援の体制を整えています。

(2) 健康と安全・安心

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑤ 学校は、新型コロナウイルス感染症予防を工夫し、心身の健康を保持し、安全で快適な生活ができるよう保健指導の充実に努めている。	A	63	53	62
	B	35	47	38
	C	2	0	0
	D	0	0	0
項目⑥ 学校は、保護者、看護師、医師との情報共有に努め、安全・安心な学習環境づくりと事故防止に努めている。	A	72	56	59
	B	25	38	36
	C	4	6	3
	D	0	0	0
項目⑦ 学校は、施設・設備の定期点検・改善を徹底し、交通安全教室や避難訓練等の安全教育・防災教育を行っている。	A	77	65	59
	B	23	29	41
	C	0	6	0
	D	0	0	0
項目⑧ 学校は、情報モラルや情報セキュリティに関する指導を行い、いじめやトラブル等の発生を未然に防ぎ、児童生徒の人権を守っている。	A	58	53	45
	B	36	41	50
	C	5	6	2
	D	0	0	0

【まとめ】

- どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせると全項目で90%を超える数値となっており、健康と安全・安心に向けた取り組みが高く評価されています。新型コロナウイルス感染症が流行して3年目となる中での教育活動でしたが、御家庭の協力を得ながら体調管理や検温等、進めることができました。引き続きの御協力をお願いいたします。
- 学校の施設・設備の老朽化が進んでいますが、定期的に点検・修理を行っています。
- 中学部、高等部の生徒を対象に、いじめに関するアンケートを2回行い、さらに高等部は生徒指導部を中心に生徒の相談期間（トークタイム、ゆうゆうタイム）を設けています。また、職員を対象に「学校いじめ防止校内研修会」を行い、全学部でいじめ防止への意識を高めています。高等部では、会津若松警察署員を講師に迎え、「SNS の利便性と危険性」並びに「高校生の事件・事故」の講話を行いました。今後も継続して指導し、家庭・地域・学校が連携し、協力して子どもたちを育てていきたいと考えております。

(3) 教師の「専門性の向上」

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑨ 学校は、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参加を見据え、適切な指導及び支援を行っている。	A	65	56	56
	B	31	32	39
	C	4	9	5
	D	0	0	0
項目⑩ 学校は、服務倫理に関するアンケート等で意識を高め、不祥事ゼロを目指している。	A	59	47	44
	B	37	44	47
	C	1	9	0
	D	0	0	3

項目⑪ 指導力向上のため、教員は研修に積極的に参加し、成果を教育活動に生かしている。	A	56	44	45
	B	38	44	45
	C	4	9	0
	D	0	0	2
項目⑫ 会津地域にある特別支援学校として、セミナーや研修を企画し、地域全体の専門性を高めることに努めている。	A	58	50	44
	B	33	38	44
	C	5	9	5
	D	0	0	0
【まとめ】 1 どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっております。今後も、児童生徒の将来への自立と社会参加を目指し、教員一同、研修に励み、専門性の向上に努めてまいります。 2 どの項目についても、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」の数値が若干出ています。教師の専門性を向上させるために行っているセミナーや研修は、保護者の皆様に見えにくいことが要因かと思われますので、今後も、ホームページや学校便り等で伝えていくように努めてまいります。				

(4) 地域や保護者との「連携・協働」

【各項目の評価結果】				
	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑬ 学校は、教育相談やホッとサークルの周知を図り、関係機関と連携・協働して幼児児童生徒、保護者のニーズに応じた支援を行ったり、地域の障がいがある子どもへの早期支援（あそびの教室）や相談支援を行ったりしている。	A	65	53	52
	B	32	38	41
	C	1	6	3
	D	0	0	0
項目⑭ 学校は、地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を行い、地域の一員として社会参加する基盤づくりに努めている。	A	54	47	47
	B	37	53	42
	C	7	0	6
	D	0	0	3
項目⑮ 学校は、福島県立博物館や只見線等の地域資源を有効に活用し、学習活動の充実を図っている。	A	56	68	64
	B	38	29	31
	C	5	3	2
	D	0	0	2
項目⑯ 学校は、ホームページや学級通信や学校だより等で教育活動の様子を伝え、特別支援教育の理解・啓発を図ったり、学習で身に付けた力を地域で発揮する機会を設けたりしている。	A	64	47	61
	B	32	50	34
	C	4	3	3
	D	0	0	0
【まとめ】 1 どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっております。センターあいづでは、常時、保護者の方からの相談を受けておりますので、気軽に職員にお声掛けください。 2 今年度もコロナ禍ではありましたが、交流及び共同学習や福島県立博物館との連携授業、そして只見線学習列車の活用と充実した教育活動を実施することができました。今後も「開かれた学校」を目指し、学校の様子発信に努め、ホームページを更新し充実させていきますので、ぜひ御覧ください。				

2 教職員 評価の結果



<評価の基準>

A…十分達成 B…おおむね達成
C…不十分 D…達成していない

アンケート回収 小：51名（100%）、中：25名（100%）、高：45名（100%）

（1）学びの变革と充実

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目① 学校は、対話と協働による学習活動や情報活用能力を育成するためにＩＣＴ機器を効果的に活用した授業づくりに努めている。	A	31	8	29
	B	67	88	71
	C	2	4	0
	D	0	0	0
項目② 学校は、「個別の指導計画」や「学びの履歴シート」を活用し、一人一人の学びの充実に努めている。	A	33	20	24
	B	65	76	67
	C	2	4	9
	D	0	0	0
項目③ 学校は、各教科等の指導において、資質・能力をバランスよく育むことができるよう、主体的、対話的で深い学びによる授業改善と評価の工夫に努めている。	A	24	12	20
	B	74	80	80
	C	2	4	0
	D	0	4	0
項目④ 学校は、関係機関と連携・協働し、地域の一員として自立し、社会参加できる系統的なキャリア教育を推進している。	A	29	12	40
	B	71	84	60
	C	0	4	0
	D	0	0	0

【まとめ】

- 1 全体的におおむね達成しているという結果ではありますが、各教科の資質・能力や情報活用能力を育成するために、「個別の指導計画」や「学びの履歴シート」をさらに活用しながら授業づくりを進めていけるよう努めてまいります。「個別の指導計画」については100%の作成率ですが、「学びの履歴シート」についてはまだ不十分なので、今後、活用していけるよう周知を図ってまいります。
- 2 項目①のＩＣＴ機器の効果的な活用については、校内研究やＩＣＴ支援員による研修、学部内での事例紹介等で学ぶ機会が設けられています。今後も教員同士、効果的に活用している事例を共有し合い、互いに学び合いながら専門性を高めていけるよう進めてまいります。
- 3 全ての項目において、「A」評価より「B」評価の方が上まわっています。「おおむね達成」ではなく、「十分達成した」と自信をもって評価できるよう、さらに実践を重ねていきます。

（2）健康と安全・安心

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑤ 学校は、心身の健康を保持し、安全で快適な生活ができるよう保健指導の充実に努めている。	A	57	28	38
	B	43	68	60
	C	0	4	2
	D	0	0	0
項目⑥ 学校は、医療的ケアを必要とする児童生徒の安全・安心を確保するため、保護者、看護師、医師と情報を共有し、事故を防止している。	A	73	48	49
	B	27	52	51
	C	0	0	0
	D	0	0	0

項目⑦ 学校は、施設・設備の定期点検・改善を徹底し、危険や災害から身を守るための安全養育・防災教育の充実を図っている。	A	53	32	36
	B	43	64	62
	C	4	4	2
	D	0	0	0
項目⑧ 学校は、情報モラルや情報セキュリティに関する指導を行い、いじめ、トラブル等の発生を未然に防ぐ仕組みを構築し、児童生徒の人権を守っている。	A	41	24	38
	B	57	68	62
	C	2	8	0
	D	0	0	0
【まとめ】 1 「A」「B」の数値を合わせると、全項目で90%を超える数値となっており、健康と安心・安全に向けた取り組みがほぼできたと言えます。スクール・サポート・スタッフの毎日の校内消毒に加え、今後も各学級内において、手洗いやうがい、換気を行い、感染症予防を心掛けていきます。 2 項目⑤に関して、朝のランニングを行ったり、スポーツタイムを設けたりして運動に親しむ時間を大切にしている学級が多いようです。また、保健の学習や養護教諭による性指導を行った学級もあります。たくましい心と体づくりを目指し、今後でもできることを進めていきたいと考えています。 3 項目⑧に関して、「いじめは絶対にやってはいけないもの」という意識を高めていき、未然防止や早期発見、早期解決に向けて教職員で連携しながら進めてまいります。				

(3) 教師の「専門性の向上」				
【各項目の評価結果】				
	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑨ 学校は、教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参加を見据え、その時点で最も適切な教育の提供に努めている。	A	31	20	27
	B	65	76	66
	C	4	4	7
	D	0	0	0
項目⑩ 学校は、風通しの良い職場を作り、同僚性を高めて不祥事を根絶するとともに、教員同士が学び合いながら専門性を高めている。	A	43	20	27
	B	55	80	64
	C	2	0	9
	D	0	0	0
項目⑪ 学校は、指導力向上のため、研修受講を積極的に推奨し、その成果を教育活動に還元している。	A	31	16	20
	B	65	80	76
	C	4	4	4
	D	0	0	0
項目⑫ 学校は、各種セミナーを企画運営し、地域全体の専門性を高め、連続性のある多様な学びの場の実現に貢献している。	A	43	24	36
	B	55	76	64
	C	2	0	0
	D	0	0	0
【まとめ】 1 「A」「B」の数値を合わせると、全項目で90%を超える数値となっており、高い評価となっております。一人一人の「教育的ニーズ」については、障がいの状態や特性及び心身の発達の段階を把握しながら、どのような指導内容や合理的配慮が必要かを保護者と話し合いながら進めてまいりたいと考えています。 2 項目⑫に関して、今年度は保護者セミナーや教職員進路セミナー、特別支援教育研究会会津大会等、感染症対策を講じながら、さまざまセミナーや講演会を実施することができました。次年度も、保護者や地域の方々にとって有意義なセミナーや講演会等を企画していく予定です。				

(4) 地域や保護者との「連携・協働」

【各項目の評価結果】

	評価	小学部	中学部	% 高等部
項目⑬ 学校は、地域のセンター的昨機能の役割を果たし、幼児児童生徒、保護者のニーズに応じ、関係機関と連携・協働して切れ目のない指導と必要な支援を提供している。	A	61	28	29
	B	37	72	71
	C	2	0	0
	D	0	0	0
項目⑭ 学校は、地域の小、中学校、高等学校との交流及び共同学習を推進し、地域の一員として社会参加する基盤整備に努めている。	A	49	20	24
	B	51	80	76
	C	0	0	0
	D	0	0	0
項目⑮ 学校は、福島県立博物館や只見線等の地域資源を有効に活用して学習活動の充実を図っている。	A	67	48	67
	B	33	48	31
	C	0	4	2
	D	0	0	0
項目⑯ 学校は、身に付けた力を発揮する機会として、地域に貢献する活動を行い、本校及び特別支援教育の理解・啓発を図っている。	A	31	8	27
	B	59	88	71
	C	10	4	2
	D	0	0	0

【まとめ】

- どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせると、全項目で90%以上の数値となっております。項目⑭に関して、コロナ禍ではありますが、神指小学校や居住地校、会津学鳳中学校との交流及び共同学習を実施することができました。引き続き、「地域で共に学び、共に生きる」社会を目指し、工夫して進めてまいります。
- 項目⑯に関しては、「地域に貢献する活動」をどのようにとらえ、どのように教育活動に盛り込んでいくかが課題であると言えます。高等部では、今年度、トライアスロン大会の給水ボランティアを行ったり、学校周辺のゴミ拾い活動を行ったりしました。身に付けた力を発揮するために、学級や学部、学校でどのような活動が考えられるかを検討し、さらなる充実を図ってまいります。

3 生徒による 評価の結果



<評価の基準>

はい いいえ わからない

アンケート回収 中：15名 高：61名

中学部生徒、高等部生徒			
【各項目の評価結果】			%
	評価	中学部	高等部
項目① 学校（学級）は楽しいですか。	はい	100	86
	いいえ	0	7
	わからない	0	7
項目② 授業は分かりやすいですか。	はい	93	92
	いいえ	0	5
	わからない	7	3
項目③ 授業で友達と話し合ったり、協力し合ったりして参加することができていますか。	はい	93	93
	いいえ	0	5
	わからない	0	2
項目④ 学校の授業でパソコンやタブレット端末、テレビ等のICT機器を使った学習は分かりやすいですか。	はい	93	89
	いいえ	0	7
	わからない	7	5
項目⑤ 校外学習や交流及び共同学習で、地域のことを知ったり、地域の人々と関わったりすることができましたか。	はい	93	88
	いいえ	0	5
	わからない	7	7
項目⑥ 先生は、卒業後の進路について、分かりやすく教えてくれますか。	はい	93	84
	いいえ	0	5
	わからない	7	11
項目⑦ 将来の自立に向けて作業学習や校内実習、就業・生活体験学習に意欲的に参加することができましたか。	はい	87	95
	いいえ	0	0
	わからない	13	5
項目⑧ 元気にあいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりして生活していますか。	はい	87	89
	いいえ	0	8
	わからない	13	3
項目⑨ 交通安全教室や避難訓練は、自分を守るために役立っていますか。	はい	80	89
	いいえ	0	3
	わからない	20	8
項目⑩ 先生は、うがいや手洗いの仕方、身体の成長、病気やけがの予防について分かりやすく教えてくれますか。	はい	87	82
	いいえ	0	10
	わからない	7	8
項目⑪ 学校の建物や設備は、安全で安心して生活できる場になっていますか。	はい	87	90
	いいえ	0	3
	わからない	13	7
項目⑫ 学校で、元気に体を動かすことができていますか。	はい	93	91
	いいえ	0	2

	わからない	13	7
項目⑬ いじめやトラブルなどの問題について、気軽に先生に相談できますか。 *高等部・いじめやトラブル、携帯電話・SNSなどの問題について、気軽に先生に相談できますか。	はい	100	64
	いいえ	0	15
	わからない	0	21
項目⑭ 先生は、あなたの家族とよく話をしていますか。	はい	100	74
	いいえ	0	10
	わからない	0	16
項目⑮ 先生は、あなたの話をよく聞いてくれますか。	はい	100	84
	いいえ	0	5
	わからない	0	10
項目⑯ 学級通信や学校だより、学校のホームページを見ていますか。	はい	73	67
	いいえ	7	26
	わからない	20	7
【まとめ】			
1 中学部生徒においては、1項目を除いて80%を超える高い評価となりました。安心・安全な環境で過ごしていることが分かります。「いいえ」と回答した生徒が、1項目を除いては0人でした。「わからない」と回答した生徒が、多くの項目で見受けられました。問われている質問内容が難しかったのか、答えにくかったのかが要因と思われます。			
2 高等部生徒においては、どの項目においても「いいえ」の回答が見られます。まずは、「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」と感じられるように工夫を重ねてまいりたいと思います。			
3 項目⑬⑭⑮について、高等部の生徒の「いいえ」「わからない」の評価が若干見られます。いじめやトラブルなどの問題については、今後も生徒の話をよく聞くようにして、早期発見・早期解決に努めてまいります。また、生徒が安心して相談できるよう雰囲気や体制づくりにも努めていきます。			
＜生徒からの意見記述＞			
・友達が大きい声を出さないで欲しい。(高等部生徒)			

4 学校評議委員の 皆様 評価の結果



＜評価の基準＞

A…よく当てはまる B…おおむね当てはまる
C…あまり当てはまらない D…全く当てはまらない

アンケート回収 5名（100%）

（１）学びの変革と充実

【各項目の評価結果】	評価	%
項目① 学校は、対話と協働による学習活動や、パソコンやタブレット端末、テレビ等のＩＣＴ機器を活用した授業を工夫して行っている。	A B C D	100 0 0 0
項目② 学校は、個別の指導計画を活用し、学びを積み上げるために一人一人に合わせた指導・支援を行っている。	A B C D	60 40 0 0
項目③ 「学校が楽しい」「授業が分かりやすい」と児童生徒が感じられるように、学校は各教科等の指導の工夫に努め、分かりやすい評価を行っている。	A B C D	60 40 0 0
項目④ 学校は、地域の一員として自立し社会参加できるように、関係機関と連携・協働し、段階に合わせたキャリア教育を行っている。	A B C D	60 40 0 0

（２）健康と安全・安心

【各項目の評価結果】	評価	%
項目⑤ 学校は、新型コロナウイルス感染症予防を工夫し、心身の健康を保持し、安全で快適な生活ができるよう保健指導の充実に努めている。	A B C D	100 0 0 0
項目⑥ 学校は、保護者、看護師、医師との情報共有に努め、安全・安心な学習環境づくりと事故防止に努めている。	A B C D	60 40 0 0
項目⑦ 学校は、施設・設備の定期点検・改善を徹底し、交通安全教室や避難訓練等の安全教育・防災教育を行っている。	A B C D	80 20 0 0
項目⑧ 学校は、情報モラルや情報セキュリティに関する指導を行い、いじめやトラブル等の発生を未然に防ぎ、児童生徒の人権を守っている。	A B C D	80 20 0 0

(3) 教師の「専門性の向上」		
【各項目の評価結果】		%
項目⑨ 学校は、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、自立と社会参加を見据え、適切な指導及び支援を行っている。	評価	
	A	60
	B	20
	C	20
	D	0
項目⑩ 学校は、服務倫理に関するアンケート等で意識を高め、不祥事ゼロを目指している。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
項目⑪ 指導力向上のため、教員は研修に積極的に参加し、成果を教育活動に生かしている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
項目⑫ 会津地域にある特別支援学校として、セミナーや研修を企画し、地域全体の専門性を高めることに努めている。	A	80
	B	0
	C	20
	D	0
(4) 地域や保護者との「連携・協働」		
【各項目の評価結果】		%
項目⑬ 学校は、教育相談やホッとサークルの周知を図り、関係機関と連携・協働して幼児児童生徒、保護者のニーズに応じた支援を行ったり、地域の障がいがある子どもへの早期支援（あそびの教室）や相談支援を行ったりしている。	評価	
	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
項目⑭ 学校は、地域の小・中学校、高等学校との交流及び共同学習を行い、地域の一員として社会参加する基盤づくりに努めている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
項目⑮ 学校は、福島県立博物館や只見線等の地域資源を有効に活用し学習活動の充実を図っている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
項目⑯ 学校は、ホームページや学級通信や学校だより等で教育活動の様子を伝え、特別支援教育の理解・啓発を図ったり、学習で身に付けた力を地域で発揮する機会を設けたりしている。	A	60
	B	40
	C	0
	D	0
【評議員からの御意見】 ○コロナ禍の中、児童生徒の充実した学習活動に向けてよく努力されておられます。 ◎ホームページの更新のお知らせメールが登録できると、見る回数が増えると思いました。お招き頂き、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。 ◎地域に支援学校のカリキュラム等、周知と交流を拓ける活動をして取り組んでいる内容を届けましょう。		